

キンメダイの資源管理手法開発研究

【研究概要】

伊豆諸島におけるキンメダイの漁業実態，資源生物特性の把握により，キンメダイの資源管理手法を開発し，広域的資源管理の展開に必要な科学的根拠を提供する。

- ① 2024 年の東京都の漁獲量は 658.2 トン（前年比 64.8%）で，364.7 トン減少した。
- ② 尾叉長測定を神津島で 3,917 尾。八丈島で 3,927 尾について行い，漁場別魚体組成を整理した。精密測定を神津島で 351 尾，八丈島で 303 尾，年齢査定を伊豆諸島全体で 227 尾実施し，結果を年齢組成や成熟状況の把握，Age-Length key 更新等，資源量推定のためのデータとして用いた。
- ③ 4, 5, 7, 9, 10 月に大島から鳥島の 10 測点で実施したリングネット調査で，キンメダイ卵が計 44 粒採集された。仔魚については採集されなかった。
- ④ 標識放流を八丈島周辺で 22 尾実施した。
- ⑤ 資源量推定の結果から関東周辺から伊豆諸島周辺海域における 2023 年時点の資源量は 37.0 千トン，資源水準は「MSY を実現する水準を上回る。」，資源動向は増加と判断された。